

令和2年度 第5回 第12地区教科書採択教育委員会協議会

- 1 日時 令和2年7月30日(木) 午前10時00分から午前11時50分
- 2 場所 芽室町中央公民館
- 3 出席委員
会長 程野 仁(芽室町)
副会長 菅野 勇次(幕別町)
監事 福地 隆(音更町)
加賀 学(池田町)
委員 堀江 博文(土幌町) 小堀 雄二(上土幌町) 大井 和行(鹿追町)
武田 芳秋(新得町) 三澤 吏佐子(清水町) 高橋 雅人(中札内村)
荻原 正(更別村) 板谷 裕康(大樹町) 菅原 康博(広尾町)
山本 芳博(豊頃町) 水野 豊昭(浦幌町) 佐々木 基裕(本別町)
藤代 和昭(足寄町) 有田 勝彦(陸別町)
- 4 欠席委員
なし
- 5 出席した事務局職員(芽室町教育委員会)
学校教育係長 橋本 岳 学校教育係 主事 齋藤 洋平
- 6 オブザーバー(十勝教育局)
教育支援係長 横尾 佑一 義務教育指導班主査 山田 圭介
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議

(程野会長)

ただ今から、令和2年度第5回第12地区教科書採択教育委員会協議会を開催いたします。議事に入ります前に、事務局から事務報告をいたします。

(事務局：橋本学校教育係長)

本日の会議につきましては、全委員に出席いただいておりますので、規約第9条第4項の規定によりまして、3分の2以上の出席がありますので、本会議は成立していることをご報告いたします。また、十勝教育局からは、横尾教育支援係長、義務教育指導班の山田主査にご出席をいただいております。

会議に入ります前に、本日配布した資料につきまして、確認させていただきます。

議案書、資料といたしまして、令和2年7月27日付けで、道教委から発出されました「令和3年度から使用する中学校用教科用図書採択参考資料の訂正について」の文書を配布しておりますのでご確認ください。以上です。

(程野会長)

それでは、前回協議会におきまして調査委員会の各小委員会から調査研究結果の報告を受けたところでありますので、本日は、令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び令和3年度使用教科用図書のうち学校教育法附則9条に規定する教科用図書の審議を行います。審議に当たりましては、教科書展示会における意見や各町村教育委員会での意見なども参考に、審議いただきますようお願いいたします。

本日の協議会の進め方について、確認させていただきます。

本日は、教科書の種目毎に2者に絞り込みを行うための審議を行い、次回、第6回協議会において、1者を決定するというところでよろしいでしょうか。

(委員一同)
異議なし。

(程野会長)

本日の協議会では種目毎に2者に絞り込み、次回第6回協議会において1者に決定することといたします。

次に本日の会議は、採択の公正確保の観点から、規約第9条第6項の規定に基づき、非公開とすることに、ご異議ございませんか。

(委員一同)
異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、本日の会議は非公開といたします。

それでは、「協議案第7号令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び令和3年度使用教科用図書のうち学校教育法附則9条に規定する教科用図書の審議及び決定について」を議題といたします。

まず始めに、国語について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(荻原委員)
はい。

(程野会長)
荻原委員。

(荻原委員)

私は教育出版と光村図書の2者を残すことで良いと思います。理由としては国語の学習では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。」ことが求められています。この観点で学習指導要領に示されている「話すこと・聞くこと」に重点を置いて、調査委員会の報告を基に教科書の特徴を比較してみましたが、この2者が他社と比べて、必要項目に関わる学習活動が多く設定されていました。教材数も、3学年の合計になりますが、教育出版では24、光村図書が21と、東京書籍の16、三省堂の15よりも豊富に取り扱っております。このように、様々な言語活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりするような工夫がなされている教育出版と光村図書の2者を残すことで良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。ただいま教育出版と光村図書の2者を残すという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(堀江委員)
はい。

(程野会長)
堀江委員。

(堀江委員)

子供たちの読書離れが叫ばれる中であって、中央教育審議会の答申において、「読書は、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである。」とされたところです。そうしたことから、私は「読むこと」に着目して、各教科書の取扱内容を調べてみました。東京書籍は、詩に描かれた風景や思いを想像し音読する活動や、必要な情報を取り出して要約する学習活動などが取り上げられており、三省堂では、説明文の基本構造を捉え内容を把握する活動や、登場人物の判断や行動について考えをまとめる学習活動などを設定しており、教育出版では、場面と描写に着目して内容の解釈について話し合う活動や、筆者の考えを踏まえて自分の考えをまとめる学習活動を設定するなどの工夫がなされています。また、光村図書では、作品や人物の特徴について気付いたことを発表する活動や、記述や図表を根拠として自分の考えをまとめる学習活動などが設定されています。4者ともそれぞれ工夫がなされており、2者に絞り込むというのも難しいものがありますが、「何が書かれているか」だけでなく、「どのように書かれているか」にも着目して読めるような配慮がなされ、子供たちの「読む力」を養うのに優れていると思われる、東京書籍と教育出版の2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。「読むこと」に関して東京書籍と教育出版が良いという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(佐々木委員)

はい。

(程野会長)

佐々木委員。

(佐々木委員)

生徒たちの生きる力を育むために、新学習指導要領でうたわれている「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する学習への対応が必要であると思いますが、そういった観点で、各教科書の内容を調べてみましたが、東京書籍では、教材の末尾の「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の考えを読み取ったり、筆者の主張について自分の意見とその根拠を書いたりするなど、考えをまとめる力を養う工夫をしており、三省堂では、「学びの道しるべ」において、学習課題や見通しを設定し、科学と社会との関係について自分の考えを広げたり、表現の特徴や工夫を捉え評価したりするなどの工夫がなされています。また、教育出版では、「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の使う言葉や話す場について意識したり、互いの考えを尊重し根拠が妥当であるか評価したりするなど、考えを深めるように工夫しており、光村図書では、「学習（手びき）」において、学習課題や見通しを設定し、問題意識をもち社会に視野を広げたり、対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立したりするなど、考えを広げるような工夫がなされています。この4者から、絞り込むとしたら、私は、豊かな感性と論理的思考力を培うために必要な語彙力を高めるような配慮がなされている、教育出版と光村図書の2者を推薦したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。主体的・対話的で深い学びという点から、教育出版と光村図書の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)
なし。

(程野会長)
ないようでありますので、国語につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、教育出版と光村図書の2者に絞りたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)
異議なし。

(程野会長)
異議なしと認め、国語につきましては、教育出版と光村図書の2者を候補といたします。続きまして、書写について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(高橋委員)
はい。

(程野会長)
高橋委員。

(高橋委員)
書写の学習を進めるにあたっては、生徒たちが興味を持って、自ら学ぶ意識を高めることが大切であると思います。こうした観点から見た場合、生徒自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、「日常に役立つ書式」など生徒たちが主体的に書写に取り組むことができるような工夫を施している教育出版と光村図書の2者を推薦します。

(程野会長)
ありがとうございます。子供たちが興味を持って、自ら学ぶ意識を高めるという観点から、教育出版と光村図書の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(三澤委員)
はい。

(程野会長)
三澤委員。

(三澤委員)
書写で育む資質・能力、文字を書く力は、子供たちが学校や地域の中で、地域の一員として生きていくために重要な要素であると思います。そうしたことから、地域社会との関連ということで、北海道との関わりのある内容について、各教科書の内容を調べてみました。東京書籍では、第2学年の「手書き文字と活字」の教材の中で、北海道のキャッチフレーズである「その先の、道へ。北海道」のポスターや、「北海道庁」の石碑を取り扱っています。教育出版では、第1学年の「行書で書いてみよう」の単元の中で、「登別地獄谷」・「釧路湿原駅」の看板や、「札幌市役所」の石碑を、第2学年では、「学習活動や日常生活に生かして書こう」の単元の中で「北海道新聞」の題字を、また、第3学年では、「身のま

わりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう」の単元の中で、「五稜郭跡」の石碑が取り扱われています。このように、北海道関連の内容を掲載し、生徒の学習意欲を高めるように工夫されている東京書籍と教育出版の2者を推薦したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。地域社会・北海道との関連という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(山本委員)

はい。

(程野会長)

山本委員。

(山本委員)

書写の指導については、学習指導要領において「文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるようにすること」が求められています。そうしたことから、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで活用していく力が大切であると思いますので、そのことについて着目し、各教科書の取扱内容を調べてみました。東京書籍では、書体や筆記具を考えてはがきの裏面を書いたり、どのような観点で楷書と行書を使い分けるか考えたりする活動を通して、その場面、場面に応じて、楷書又は行書を選んで書く学習活動などが取り上げられており、三省堂では、書体を選択してお礼状を書いたり、読み手や目的、状況に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする学習活動を設定しております。また、教育出版では、用紙や書体を工夫して案内状を書いたり、様々な書く場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、楷書又は行書を選択して書く学習活動を設定するなどの工夫がなされています。光村図書では、楷書又は行書を選択して入学願書を書いたり、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くことが適しているかを考えたりする活動などにより、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く学習活動が設定されています。4者ともそれぞれ、書写の能力を学習や生活に役立てる工夫がなされておりますが、2者に絞り込むということであれば、より効果的に文字を書くことに配慮がなされていると感じた、東京書籍と教育出版の2者を推薦したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。書写の能力を学習や生活に役立てる工夫という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、書写につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、教育出版と東京書籍の2者に絞りたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、書写につきましては、教育出版と東京書籍の2者を候補といたします。続きまして、社会の地理分野について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(小堀委員)

はい。

(程野会長)

小堀委員。

(小堀委員)

学習指導要領改訂に当たっての改善事項とされる主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習がどのように取り上げられているか、地理的分野においても重要な観点だと思えます。私は、4者における取扱内容を調べてみました。まず、東京書籍は、「日本の位置」において学習課題を設定し、学習の見通しをもたせるとともに、参加型学習「みんなでチャレンジ」を設け、考えを広げたり深めたりするなどの設定がされており、次に、教育出版では「防災教育」において学習課題を設定し、学習の見通しをもたせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設け、個人やグループで学習を進める工夫をするなどの設定をしていました。帝国書院では、「地域の在り方」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会的な課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組む活動を設けたり、生徒自身が学習の振り返りを行ったりするなどの設定をしていました。日本文教出版では、「世界の諸地域」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、節末で地球的課題を解決したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの設定をしていました。この4者から絞り込むとしたら、私は、参加型学習で多様な意見に触れたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動の工夫がされている、東京書籍と教育出版の2者を残すのが良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。主体的・対話的で深い学びの観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(藤代委員)

はい。

(程野会長)

藤代委員。

(藤代委員)

社会科地理的分野では、我が国の国土と世界の諸地域の両方を学習対象とし、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題解決に向けて公正に選択・判断できるよう、広い視野に立って、地域に関わる諸事情や特色を理解することが求められています。このことから、私は、世界や日本の様々な地域に関する取扱内容を調べてみました。東京書籍では、アジ

ア州におけるイスラム教徒の生活・文化などから、州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、地理的特色を理解したりする活動などを設定しています。また、日本の様々な地域については、「九州地方における自然環境の中での暮らし」という主題を設けて地域の課題を理解する活動などを設定していました。教育出版では、アジア州における経済発展やヨーロッパ州における統合とその課題などから、州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、主題を設けて地理的特色を理解したりする活動を設定しています。また、日本の様々な地域については、「中国・四国地方における人口集中や人口減少」という各地域の課題に応じた主題を設けて地域の課題を理解する活動などを設定していました。帝国書院では、アジア州における自然環境やヨーロッパ州における文化の共通性と多様性から、州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、北アメリカ州では、「アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら世界をリードしたのか」という主題を設けて地域的特色を理解したりする活動を設定していました。また、日本の様々な地域については、日本を7つの地方に区分して、自然環境、交通「近畿地方における環境問題への取組」という主題を設けて地域の課題を理解する活動などを設定していました。日本文教出版では、アジア州における人口や経済発展、アフリカ州における自立のための開発と国際協力などから、州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、オセアニア州では、「多文化が共生する社会」という主題を設けて地域的特色を理解する活動を設定していました。また、日本の様々な地域については、「中部地方における産業」という主題を設けて地域の課題を理解する活動などを設定していました。以上の点について調べた結果、総合的な内容から、東京書籍と教育出版の2者に絞り込むのが良いのではないかと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。取り扱いを総合的に見て、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅野副会長)

はい。

(程野会長)

菅野副会長。

(菅野副会長)

私は、地理的分野で重要とされる「日本の諸地域」について、子どもたちが自分の地域に興味を持って学習することが大切だと思います。そこで、北海道の特色やアイヌ民族、北方領土の掲載について調べてみました。東京書籍では、北海道における自然の特色を生かした産業などと、「現在に受け継がれるアイヌ民族の文化」などの内容を掲載しており、「国土の広がり」と周りの国々や「日本の北端」、「日本の略地図例」、「北海道地方の自然環境」などにおいて、北方領土に関する内容を取り上げています。教育出版では、北海道における豊かな自然と観光などの内容と、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化などの内容を掲載し、「国土の北端 北緯45度33分」や「北方領土とその周辺」、「墓地で手を合わせる元島民」、「北海道地方の地勢」などにおいて、北方領土に関する内容を取り上げています。帝国書院は、雪と共にある北海道の人々の生活などの内容と、自然と共に生きるアイヌの人々の歴史や文化などの内容を掲載し、「納沙布岬から見える北方領土の島々」や「北方領土周辺の国境の移り変わり」などにおいて、北方領土に関する内容を取り上げています。日本文教出版では、北海道地方の自然環境と人々のかかわりなどの内容と、日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や民族共生象徴空間などの内容を掲載し、「北方領土

付近の国境の変化」や「羅臼町から見た国後島」などにおいて、北方領土に関する内容を取り上げています。私も、これまでの各委員のご発言と同様に、北海道に関する記述が多い東京書籍と教育出版の2者を推薦したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。郷土北海道や北方領土の掲載についてという観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、社会の地理的分野につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と教育出版の2者に絞りたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、社会の地理的分野につきましては、東京書籍と教育出版の2者を候補といたします。

続きまして、社会の歴史分野について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(武田委員)

はい。

(程野会長)

武田委員。

(武田委員)

今回の学習指導要領の改訂においても、歴史的分野の学習の中心は、「我が国の歴史の大きな流れの理解」とされており、世界の歴史を背景に「時代の特色」を踏まえ、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて読み取る技能や課題解決に向けてまとめる技能を身につけることが求められています。各者の教科書を比較しますと、まず、歴史のとらえ方の学習では、各者とも、小学校で学習した歴史上の人物、出来事、文化遺産に着目し、時代ごとの特色などを調査、考察したり、発表し合うなど認識を深めたり、西暦や世紀、時代区分、年代の表し方の意味や意義を理解する活動が取り上げられています。次に、近現代の日本と世界についての学習活動では、各者とも、第二次世界大戦後の政治の展開と国民生活の変化、産業・経済の復興や高度経済成長、国際社会における我が国の役割などについて、それぞれ主題を設けて時代の変化を理解する活動が取り上げられており、各者ともそれぞれの学習活動を通して目標達成が図られた内容となっています。教科書の発行者は7者ですが、「育鵬社」と「学び舎」の2者は見本本がないため、選定から外さざるを得ないと思いますので、残り5者からの絞り込みとなりますが、我が国の歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解できるよう配慮がなされている東京書籍と教育出版の2

者が良いのではないかと思います。この2者については、社会科における地理、歴史、公民の教科書を扱っているということで、関連づけた授業を構築する上からも適当であると考えます。

(程野会長)

ありがとうございました。各時代の特色を踏まえている等の観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(板谷委員)

はい。

(程野会長)

板谷委員。

(板谷委員)

社会の歴史的分野においても、主体的・対話的で深い学びの実現に資するということは重要だと思います。そこで、主体的な学習を成すための学びのプロセスが特にわかりやすく、且つ歴史への興味付けが優れている東京書籍と教育出版の2者を推薦したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。主体的・対話的で深い学びの観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(加賀監事)

はい。

(程野会長)

加賀監事。

(加賀委員)

歴史的分野においては、身近な地域の歴史について課題を追求したり解決したりする活動を通して、自らが生活する地域で受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、地域の歴史について学ぶことが求められています。こうしたことを踏まえ、十勝で使用する歴史の教科書として、特にアイヌの人々の歴史や文化、さらに開拓の歴史がどのように記述されているか調べてみました。東京書籍は、2ページにわたって「もっと歴史、アイヌ文化とその継承」と題して、アイヌ文化の成立と展開、文化を継承する動きなど詳しく記述するほか、北海道開拓とアイヌの人々、北海道旧土人保護法など合計18箇所記述されています。教育出版では、「琉球とアイヌ文化を伝えた人たち」という欄を設け、知里幸恵と金田一京助、同化政策と差別のほか、民族共生象徴空間（ウポポイ）など、合計18箇所記述されています。帝国書院は、「蝦夷地への窓口」、「交易をめぐる衝突」など合計19箇所記述されています。山川出版社は、「北海道開拓とアイヌ民族」、「首長やイオマンテの様子」など合計8箇所記述されています。日本文教出版は、「北海道とアイヌの人々」、「生活や権利を守る働き」など合計15箇所記述されています。なお、育鵬社と学び舎については、見本本がありませんでしたので、選定から外さざるを得ないと考えます。箇所数だ

けで一概に見ることはできませんが、記述の内容、分量などを比較・検討した結果、特に優れている教科書として、私は東京書籍と教育出版の2者を推薦したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。アイヌの人々の歴史や文化、開拓の歴史という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございましたか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、社会の歴史的分野につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と教育出版の2者に絞りたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、社会の歴史的分野につきましては、東京書籍と教育出版の2者を候補といたします。

続きまして、社会の公民分野について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(菅原委員)

はい。

(程野会長)

菅原委員。

(菅原委員)

私は、日本が抱える領土問題として「北方領土に関する内容」がどのように取り扱われているかに着目して、各社の教科書を調べてみました。その結果、東京書籍と教育出版の2者を推薦します。理由といたしましては、2者ともに豊富な資料を掲載しながら多面的・多角的な学習が実現できるように工夫されていると考えることから東京書籍と教育出版の2者でよろしいのではと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。多面的・多角的な学習という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(有田委員)

はい。

(程野会長)

有田委員。

(有田委員)

私は、北海道に住む者として、各教科書がアイヌの人たちの歴史・文化等についてどの程度取り扱っているのかをまとめてみました。東京書籍は、第2章「個人の尊重と日本国憲法」の人権に関する学習の中で「先住民族としてのアイヌ民族」という特設ページがあります(2ページ)。内容としては、「日本の先住民族」「明治時代からの同化政策」「先住民族としての権利を求めて」「国際的な関心の高まり」などがあります。教育出版は、第2章「個人を尊重する日本国憲法」の人権に関する学習で「差別のない社会をつくるためには」という学習課題の中で学ぶようになっています。アイヌ文化振興法やアイヌを先住民族とする決議についても記述があります。また、民族共生象徴空間「ウポポイ」の完成予想図も紹介しています。帝国書院は、第1章「日本国憲法」の基本的な人権を学ぶ中で、「日本社会の差別の現実」を扱っており、そこで、アイヌの人々への差別、アイヌ文化や施策の推進、アイヌ語の継承、などについて記述しています。日本文教出版は、第2編「私たちの生活と政治」の第1章「個人の尊重と日本国憲法」の「差別のない社会へ」の中で、「アイヌ民族への差別」を取り上げています。また、アイヌ文化の体験学習の写真を掲載し、アイヌ民族や文化に対する理解を進め生活を向上させる政策の必要性を訴えています。自由社は、アイヌ民族やアイヌ文化に関する記述がなく、学習内容として取り上げていません。育鵬社については、見本本がないことから、見ることはできませんでした。このように、アイヌの人たちの歴史・文化等については、東京書籍と教育出版の2者が幅広い取り上げ方をしていることから、この2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。アイヌの人たちの歴史・文化等の取り上げ方という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(福地監事)

はい。

(程野会長)

福地監事。

(福地監事)

最近、国や企業でも注目している「持続可能な開発目標」(SDGs)を学習内容にどのように取り入れているかという視点で6社を比較してみました。SDGsについては、すべての教科書で取り上げていましたが、SDGsの実現を基本に置いて、国際社会の学習を構成していたのは4社です。その中でも特に、教育出版は、「公民の学習を始めるにあたって」という最初のページからSDGsを取り上げ、学習全体のテーマとして「どのようにして持続可能な未来を築いていくことができるだろうか」という大きな問いへの答えを探しにいきましょう」と示しています。また、各章の終末には、学習ごとに関連する主なSDGsの項目を明示しています。このように、教科書全体がSDGsの実現に向かって構成されています。東京書籍は、巻頭と巻末の写真の中央に「持続可能な社会の実現に向けて」のテーマを配置しています。そして、公民の学習について「現代社会のさまざまな課題についてそれを解決し、持続可能な社会を実現するにはどうしたらよいかを学習していきます」と明示しています。内容としては、第1章第1節で「持続可能な社会」についての課題を8ページにわたって紹介しています。また、第5章「地球社会と私たち」でSDGsについて世界

が直面している主な課題とゴールを取り上げています。私は、このようにSDGsについて詳しく取り上げている教育出版と東京書籍の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。SDGsという観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、社会の公的的分野につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と教育出版の2者に絞りたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、社会の公的的分野につきましては、東京書籍と教育出版の2者を候補といたします。

続きまして、社会の地図について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(水野委員)

はい。

(程野会長)

水野委員。

(水野委員)

私は地域の特性を踏まえて、1つ目に北海道とのかかわりのある内容、2つ目に北方領土に関する内容についてどのように扱われているのかを比較してみました。東京書籍では、1つ目は、北海道地方のテーマ資料において、アイヌ語に由来する地名などを掲載し、生徒の学習意欲を高めています。2つ目は、日本の主な島・択捉島、国後島、色丹島の所属を北海道として示すとともに、日本の都道府県の統計表・面積には、北方領土を含むことを注釈に示して説明しています。帝国書院では、1つ目は、日本の歴史遺産において、日本の世界文化遺産と史跡・シャクシャインの戦いを掲載し、生徒の学習意欲を高めています。2つ目は、知床半島から見た国後島や国後島の写真を示し、ロシアが不法に占拠していることを説明するとともに、日本の北端として択捉島を示し、千島列島など帰属未定の地域について説明をしています。地図は2者であり、両者とも北海道におけるアイヌ文化とのかかわりや北方領土の取り扱いについて学習できるように工夫されています。このことから、両者を次回検討することでよいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。東京書籍と帝国書院の2者から検討するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(大井委員)

はい。

(程野会長)

大井委員。

(大井委員)

社会科では、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の育成を重要視しています。その中で地図には、国際社会が抱える課題について視覚的に分かりやすい表記が求められています。地図は2社ですが、上記の課題がどのように扱われているかを調査してみました。東京書籍では、「SDGsを知ろう」から始まり、現代的な諸課題として環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題、紛争・難民問題の順番で紹介しています。また、写真・地図・グラフ等を多数用いて見やすく詳しくまとめています。帝国書院では、世界の環境問題、世界と日本の人口、世界と日本の鉱産資源、世界と日本の交通・通信等のシリーズがあります。これらについては、写真・地図・グラフによって見やすく提示しています。両者ともグローバルな課題について、生徒の視点を強く意識した表記がなされており、両者を次回検討することによって考えています。

(程野会長)

ありがとうございました。東京書籍と帝国書院の2者から検討するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、社会の地図につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と帝国書院の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、社会の地図につきましては、東京書籍と帝国書院の2者を候補といたします。

続きまして、数学について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(高橋委員)

はい。

(程野会長)

高橋委員。

(高橋委員)

学校の教育目標をより良く達成するためのカリキュラム・マネジメントに着目して、各教科書の取扱内容を調べてみました。その観点で見た場合、他教科との関連を示した「教科関連マーク」や、数学で学んだ学習を他教科や日常生活と関連付けて学習できる工夫がなされている東京書籍と教育出版の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。カリキュラム・マネジメントという観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(佐々木委員)

はい。

(程野会長)

佐々木委員。

(佐々木委員)

私は、数学を通して、社会生活の課題に対しても活用できる「数学的な見方・考え方」を育むための「数学的な活動」に関する指導の工夫に着目して、各教科書の取扱内容を調べてみました。特に、東京書籍では、論理的な思考を伸ばす、「考えてみよう・調べてみよう」という(Q)から始まる「数学的活動」の工夫や、生徒の疑問を引き出し、学習への動機づけをする「章のとびら」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされています。さらには、虫めがねマークで、問題解決のために働かせる見方・考え方を引き出したり、振り返って意識づけたりする工夫がなされています。教育出版では、章の導入問題「Let's Try」で日常の事象から数学的な活動が始められるようにしたり、「数学の広場」で生徒の学習を深め広げるための話題を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。さらには、既習事項で定着していない内容を前ページで確認できる「もどって確認」や、「章のとびら」の中で、社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題を掲載するなど、主体的に取り組むことができるような工夫がなされています。7者から2者に絞り込むとすれば、より生徒の「数学的な見方・考え方」を育むための「数学的な活動」の工夫がなされていると考える、東京書籍と教育出版の2者を選定したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。数学的な活動の工夫という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(小堀委員)

はい。

(程野会長)

小堀委員。

(小堀委員)

今回の学習指導要領の改訂において、数学科では目指す資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つに沿って明確化し、

各学校段階を通じて、実社会との関わりを意識した数学的活動の充実を図ることが求められています。そうしたことから、私は「主体的・対話的で深い学び」の工夫に着目して、各教科書の取扱内容を調べてみました。東京書籍では、文字の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、本棚を作るのに必要な棒の本数について考え、図や式の活用について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。大日本図書では、平行と合同の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、星形の図形の角の和を求める方法について考え、多角形の性質を利用する考え方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。学校図書では、いろいろな確率の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、くじを引く順番と当たりやすさについて考え、条件を変えて考えた結果について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。また、教育出版では、1次関数の活用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、印刷枚数と印刷料金の関係について、グラフを用いながら話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。啓林館では、三平方の定理の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、富士山の頂上から見渡せる範囲について考え、範囲を求めるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。さらに、数研出版では、文字を使った式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、マグネットの個数を求める式について考え、操作や図を使った解き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。日本文教出版では、くじの当たりやすさの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、くじを引く順番と当たりやすさについて考え、樹形図を使った解き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動などが取り上げられています。7者ともそれぞれ工夫がなされておりますが、より生徒自らの課題解決を図るための工夫がなされていると思われる、東京書籍と教育出版の2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。主体的・対話的で深い学びの工夫という観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、数学につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と教育出版の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、数学につきましては、東京書籍と教育出版の2者を候補といたします。続きまして、理科について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(水野委員)

はい。

(程野会長)
水野委員。

(水野委員)

今回の学習指導要領の改訂においては、理科で求められる資質・能力を育成する観点から、知的好奇心や探究心をもち、自然に親しみ、見通しをもって観察・実験などを行い、その結果を整理し考察するなどの科学的に探究する学習活動を充実することが求められています。そうしたことから、私は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する学びの観点から、各教科書の取扱内容を調べてみました。東京書籍では、「レッツスタート!」や多彩なコラムで生徒の主体的な学びを促すとともに、他者との協働を促すキャラクターとの対話、「科学のミカタ」などで深い学びを図る工夫がされています。併せて、「Before & After」、「?課題」と「!結論」で見通しと振り返りができるようにしています。大日本図書では、生徒が主体的に活動できるように、マークなどを用いて活動の流れが分かりやすくするとともに、主体的に問題を見つけ、見通しをもって観察・実験を行う流れにしています。観察・実験によっては、結果を分析し、解釈する場面を設け、対話的で深い学びを図る工夫がされています。学校図書では、生徒の主体性を促すために、生徒が持つ疑問に対する対話例を掲載するとともに、なぜ対話が必要なのか、深く考えるとはどういうことかについて説明するなどの工夫、また、巻末には、深い学びを実現する活動例を設けるなどの工夫がされています。教育出版では、自分の考えをもつことや対話を進めるため、考えを深める場面では、生徒キャラクターを登場させるとともに、観察・実験の学習では、実際の生徒の写真が掲載され、自ら主体的に学ぶことを促しています。また、領域を通じて「考えよう」「話し合おう」マークを付けて、主体的で対話的な学びを促しています。啓林館では、探究的な学習に主体的に取り組む活動として、各単元に1つ「探Qシート」により、生徒の活動をサポートするようにしています。また、自ら考える場や対話的な学びの場として、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」、さらには、生活の中の何気ない疑問を、対話を通して解決する場として、「みんなで解決」を設けるなどの工夫がされています。5者ともそれぞれ工夫がなされていますが、より生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する内容の工夫がなされていると思われる、教育出版と啓林館の2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。主体的・対話的で深い学びという観点から、教育出版と啓林館の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(荻原委員)
はい。

(程野会長)
荻原委員。

(荻原委員)

私も教育出版と啓林館の2者が良いと思います。選定理由としましては、学校教育の今日的な課題であるカリキュラム・マネジメントについて、理科の中でどのような配慮がなされているかに着目して、各教科書の取扱内容を調べてみました。2者とも、他者に比べ小学校の既習事項に基づく小中の接続や、地域と連携した活動につながる活動、話題を取

り入れるなどの工夫がされており、スムーズなカリキュラム・マネジメントが可能となる内容の工夫がなされていると思われる教育出版と啓林館の2者を選定したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。カリキュラム・マネジメントという観点から、教育出版と啓林館の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(藤代委員)

はい。

(程野会長)

藤代委員。

(藤代委員)

今日、日本はもとより、世界各国で発生する自然災害等にかかわり、学校教育において求められる資質・能力の中で、理科における防災・減災にかかわる資質・能力の育成の観点から、各教科書の取扱内容を調べてみました。特に、教育出版では、全学年で防災・減災に関する章を設け、自然災害に関する教育の充実を図るようにしています。また、自然災害については、3年間を通して学習がつながるように構成し、自然災害と防災・減災に対する理解を深めていくような工夫がされています。また、啓林館では、多くの動植物や自然環境を紹介し、自然の共通性・多様性と豊かさに目を向けるようにする中で、環境への意識を高めるよう「環境マーク」を表示しています。「地球」の単元では、天気の変化がもたらす恵みと災害について事例を紹介して考察させるとともに、防災・減災への備えの意識をもたせるようにしています。さらに「防災ラボ」では、自然災害の仕組みや影響、また、備えるための技術や取組などを紹介し、当事者意識をもたせる工夫などがされています。5者ともそれぞれ工夫がなされていると思いますが、より主体的に防災・減災につながる資質・能力の育成を図る扱い内容となっていると思われる、教育出版と啓林館の2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。防災・減災につながる資質・能力の育成という観点から、教育出版と啓林館の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、理科につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、教育出版と啓林館の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、理科につきましては、教育出版と啓林館の2者を候補といたします。続きまして、音楽について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(菅原委員)

はい。

(程野会長)

菅原委員。

(菅原委員)

学習指導要領では、音楽科の目標を、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指しています。音楽の教科書は、教育出版と教育芸術社しかありませんが、2者とも学習内容が系統的に整理されていると思いますので、この両者を次回検討するというのでよいと考えています。

(程野会長)

ありがとうございました。教育出版と教育芸術社の2者から検討するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(加賀監事)

はい。

(程野会長)

加賀監事。

(加賀監事)

教育出版と教育芸術社の両者とも学習指導要領の目標に沿った内容と思われるので、教育出版と教育芸術社の2者から選定していくのが良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。教育出版と教育芸術社の2者から検討するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、音楽につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、一般と器楽合奏ともに、教育出版と教育芸術社の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、音楽につきましては、一般も器楽も、教育出版と教育芸術社の2者を候補といたします。続きまして、美術について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(有田委員)

はい。

(程野会長)

有田委員。

(有田委員)

私は、光村図書と日本文教出版の2者を選びたいと思います。それは、教科書の使いやすさという視点から見て、この2者がすぐれていると思うからです。3者の教科書は、それぞれ3部構成になっています。[絵や彫刻など編]、[デザインや工芸など編]と[資料編]の3部です。その[資料編]の使いやすさを見ってみました。光村図書は、[資料編]を「学習を支える資料」というタイトルにしています。これは、生徒が創作をするときの参考資料として活用しやすいイメージを与えています。さらに、「描くための材料と用具」・「生活の中の文字」・「つくるための材料と用具」・「形と色」などという小見出しが付けられており、これは生徒が資料を捜すときの手がかりとなり、使いやすさにつながっています。日本文教出版は、[資料編]を「学びを支える資料」として、生徒の参考資料としての位置付けを明示しています。また、「鑑賞」「技法」「色彩」などと資料を細分化して表示し配置しています。このような細かな表示がなされているため、生徒にとっては使い勝手がよいと思います。このように、2者の美術の教科書には、「資料」の部分のタイトルや表示などといった細かな部分に工夫がなされていると思いますので、光村図書と日本文教出版の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございます。光村図書と日本文教出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(山本委員)

はい。

(程野会長)

山本委員。

(山本委員)

美術科には、創造活動の喜びを味わうとともに、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心情豊かな生活を創造していく態度や豊かな情操を培うことが目標として掲げられています。このことは、「鑑賞」の活動によって育まれる部分が大きいと考えます。そこで私は、3者の教科書がどのように「鑑賞」を取り上げているかについて調べてみました。光村図書では、版の表現のよさや多色刷りの美しさなどについて話し合う活動を通して、版画と絵の違いや美術作品の理解や見方が深まるように工夫されています。また、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもてるように、日本の作品やヨーロッパ作品にとどまらず、世界各国のものを紹介しています。「鑑賞」については46ページで学習活動

を設定しています。日本文教出版では、現代美術の美しさや面白さなどについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などの理解や見方を深めるように構成されています。作品については絵や彫刻、縄文土器など多岐に及んでいます。「鑑賞」については46ページで学習活動を設定しています。開隆堂では、作者の表現した思いや作風などについて話し合う活動を通して、表現方法の違いや美術作品の理解や見方を深めるように工夫されています。また、原寸の写真などを用いて多様な作品が紹介されています。「鑑賞」については40ページで学習活動を設定しています。以上、「鑑賞」という点において多くの作品ページを活用している光村図書と日本文教出版の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。「鑑賞」という観点から、光村図書と日本文教出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、美術につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、光村図書と日本文教出版の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、美術につきましては、光村図書と日本文教出版の2者を候補といたします。続きまして、保健体育について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(武田委員)

はい。

(程野会長)

武田委員。

(武田委員)

保健体育科においては、生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことが求められています。そうしたことから、昨今の新型コロナウイルス感染症の関係もありますが、保健分野における「健康な生活と疾病の予防」については、非常に大切なものであると考えており、そういった観点で各教科書の取扱内容を調べてみました。東京書籍では、がんの発生の仕方や要因について調べたり、感染症の原因となる病原体の種類や感染経路などについて比較したりする活動を通して理解を深められるような工夫がなされおり、大日本図書では、自分の生活を振り返り、規則正しい1日の生活についてグラフを作成したり、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけについて話し合ったりする学習活動などを取り上げており、大修館書店では、生活習慣病の要因や予防について考えたり、喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけや対処の仕方などについて、話し合ったりするなどの学習活動が設定されています。また、学研教育みら

いでは、チェック表で1週間の生活を確認し、良い点や改善点について考えたり、がんの主な原因や予防の方法について意見を出し合ったりする活動を通して、理解を深めることができるよう工夫されています。4者ともそれぞれ、健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、必要な資質、能力を身に着けることができるよう工夫がなされていますが、2者に絞り込むということであれば、保健分野のページ数や、保健体育の総領域におけるページ数が他者よりも多く、内容的にも使いやすいと感じた、東京書籍と学研教育みらいの2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。健康な生活と疾病の予防という観点から、東京書籍と学研教育みらいの2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(板谷委員)

はい。

(程野会長)

板谷委員。

(板谷委員)

保健体育の学習を進めるにあたって、とりわけ体育分野においては、体育理論として、運動やスポーツの多様性や、その意義、効果などについて、理解することが求められていますが、こうした観点で、体育理論の取り扱い内容に重点を置いて、各教科書の特徴を比較してみました。学研教育みらいでは、スポーツ活動の安全な行い方を踏まえ、自分が活動を行うときのチェック項目を作成したり、人々を結び付ける働きのあるスポーツの効果や影響について話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて理解するなどの工夫がなされています。また、東京書籍では、運動やスポーツの楽しみ方やこれからのスポーツライフについて考え、仲間と比較したり、スポーツの文化的意義を踏まえ自分の地域のスポーツ振興に関する計画について調べたりする活動を通して、運動やスポーツの多様な楽しみ方や現代社会におけるスポーツの文化的意義について理解するよう工夫がなされています。私は、この2者が取扱内容などにおいて、他者よりも優れていると思いますので、東京書籍と学研教育みらいの2者を推薦いたします。

(程野会長)

ありがとうございました。東京書籍と学研教育みらいの2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、保健体育につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と学研教育みらいの2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、保健体育につきましては、東京書籍と学研教育みらいの2者を候補といたします。続きまして、技術科について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(堀江委員)

はい。

(程野会長)

堀江委員。

(堀江委員)

技術科は、コンピュータや情報通信ネットワークについて直接学ぶことができる教科です。生徒が、今後ますます発達していく「情報の技術」を理解し活用することは極めて重要と考えます。一方で、情報モラルや情報セキュリティに関する学習も教科の中でしっかりと定着させることが大切です。そのような視点で、3社の取り扱いを調べました。東京書籍は、情報モラル、情報検索の便利な点と注意すべき点、情報発信の便利な点と注意すべき点、知的財産の利用と創造、セキュリティ対策のソフトなど10ページ、開隆堂は、情報社会の脅威、不正プログラム、万に備える、情報モラルの必要性、知的財産の保護と活用など10ページ、教育図書は、情報セキュリティの技術、情報モラルと情報の扱い方、知的財産や個人を守る権利や法律など6ページの取り扱いがあり、東京書籍と開隆堂がより詳しくしっかりと学習できるように構成されています。よって、この2者がよいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。東京書籍と開隆堂の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(菅野副会長)

はい。

(程野会長)

菅野副会長。

(菅野副会長)

技術科は、実習や作業学習が多い教科です。そのため、安全や衛生に関する学習が欠かせません。しかも、実習や作業の工程ごとに細かな注意が必要になってきます。そのような観点で3社の教科書を比較してみました。どの出版社も工夫されていましたが、その中で、開隆堂は、題材ごとに「動作のポイント」という欄があり、作業の要点を写真や絵で分かりやすく示しており、そこから安全に関する注意を読み取ることができます。また、「安全」の囲みを随所に散りばめて、生徒の安全に関する具体的な行動を端的に示しています。「材料と加工の技術」の内容には、11か所の「安全」が示されています。東京書籍は、「ポイント」という赤の囲みがあり、安全な作業工程についてイラスト等を交えながら示しています。また、作業に関する写真も多く掲載されており、手や体の位置などについても分かりやすくなっています。また、「安全・衛生」の囲みを作業工程にそって配置し、具体的な安全ポイントを示しています。「材料と加工の技術」の内容には、11か所の「安全・衛

生」が示されています。安全・衛生面への配慮という面から、私は開隆堂と東京書籍の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。安全・衛生面への配慮という観点から開隆堂と東京書籍の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、技術科につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と開隆堂の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、技術科につきましては、東京書籍と開隆堂の2者を候補といたします。続きまして、家庭科について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(三澤委員)

はい。

(程野会長)

三澤委員。

(三澤委員)

私は東京書籍と開隆堂の2者が良いと思います。家庭科は、身近な生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習です。したがって、生徒にとって生活の舞台である北海道とのかかわりがとても大事だと考えています。そのような視点で北海道とのかかわりを調べたところ、東京書籍は、地域の食材の中で利尻昆布、日本の郷土料理の中で石狩鍋、地域に伝わる衣の文化の例の中でアットゥシ、せいかつメモの中で洞爺丸台風、高齢者とのかかわりというところでは北海道大学で学ばれました三浦雄一郎さんのことが扱われております。開隆堂は、日本周辺でとれる魚の中で羅臼のサケや稚内のホッケ、伝統野菜の中で札幌黄(さっぽろき)のたまねぎについて扱っています。また、地域の食文化ではめふんやちゃんちゃん焼きが紹介されています。災害の備えでは雪害について扱っており、伝統分野を受け継ぎではアットゥシが扱われています。以上のおり、生徒の興味・関心をベースにした学習が展開されることが期待できます東京書籍と開隆堂の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。東京書籍と開隆堂の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(板谷委員)

はい。

(程野会長)

板谷委員。

(板谷委員)

家庭科においては、環境問題やエネルギー問題といった国際的な視点を持つことが大事であると考えます。そこで、国際的な視野の広がりを見据えた内容を多く取り入れて、「生徒の主体的・対話的で深い学び」を実現しようとしている開隆堂と東京書籍の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございます。国際的な視野の広がりを見据えた内容という観点から東京書籍と開隆堂の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、家庭科につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と開隆堂の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、家庭科につきましては、東京書籍と開隆堂の2者を候補といたします。続きまして、外国語について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(高橋委員)

はい。

(程野会長)

高橋委員。

(高橋委員)

今回の学習指導要領の改訂では、各学校段階間の学びの接続が意識されており、世界で使用されている言語教育の枠組みである5技能の考え方が導入されています。これは、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の4技能のうち、「話すこと」を「会話・やり取り」と「発表」に分類するものです。こうしたことを考慮し、主体的・対話的で深い学びに資する学びの観点で見た場合、「プロジェクト」として学習課題を設定しスピーチに取り組みせたり、「小学校での外国語活動の基礎に立ち、何のために誰に向けた」会話なのかを意識させている、教育出版と開隆堂の2者を推薦します。

(程野会長)

ありがとうございました。主体的・対話的で深い学びの観点から、教育出版と開隆堂の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(有田委員)

はい。

(程野会長)

有田委員。

(有田委員)

今日、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、GIGAスクール構想等におけるオンライン授業の推進が求められています。そのためには、生徒が、学校の授業はもとより、家庭学習においても、自ら学び考えるなど自律的な学習者として育っていくことが必要です。このようなことから、各教科書を自学自習の補助の観点から、その取扱内容を調べてみました。特に開隆堂では、新出表現の導入は、2コの漫画形式で示すことにより、文字が読めなくても、イラストや音声を頼りに内容を推測できるように配慮されています。また、Tryのコーナーでは、小学校で学んだ表現をどんどん使う機会を設け、スパイラルな学習ができるように工夫されています。さらに、4技能5領域にまとめた「できるようになったことリスト」を巻末に掲載し、自分が身に付けた軌跡が分かるように、年4回チェックできる欄を設けるなどの工夫がされています。また、教育出版では、巻末資料「Activities Plus」を新設し、既習事項の復習、予習に活用したり、4技能5領域のコツがわかる「Tips」を設定したりするなどの配慮がされています。さらに、「How to Study」で学び方を学ぶような工夫がされています。加えて、小学校で行ってきた言語活動や学んできた言語材料を生かした導入単元を配置するとともに、3年間を見通した到達目標や単元ごとの振り返りを重視し、生徒が主体的かつ段階的に英語を習得することができるような工夫がされています。6者ともそれぞれ工夫がなされておりますが、生徒の学びを止めない、生徒の学びを保障するための、生徒の主体的な学びや、学び方を育てるための配慮がされている、教育出版と開隆堂の2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。生徒の主体的な学びの観点から、教育出版と開隆堂の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(福地監事)

はい。

(程野会長)

福地監事。

(福地監事)

私は、英語科における小中の接続と、北海道とのかかわりの2点の観点から、各教科書の取扱内容を調べてみました。特に、開隆堂では、小学校において学習した自己紹介をしたり、友達へのインタビューをしたりするなどの活動を踏まえ、自分についてスピーチしたり、人物について紹介したりした後に、自分が選んだ絵や写真についてスピーチする

内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされ、さらに、ペアでディベートしたり、グループでのスピーチやプレゼンテーションを生かし、地元についてのPR活動につなげる内容などの工夫がされています。北海道とのかかわりについては、札幌市に関するインタビューを位置づけたり、札幌市の雪像や味噌ラーメンを取り扱ったりするなどの配慮がされています。また、教育出版では、小学校での既習事項と、中学校での新出事項の提示の仕方に工夫を凝らし、スムーズな小中接続に配慮しています。また、小学校での学びの財産を中学校で活かすための配列とともに、中1ギャップの解消を目指した内容の取扱いを工夫しています。北海道とのかかわりについては、北海道の観光名所についての対話を位置づけたり、北海道の自然保護やスポーツ選手を取り扱ったりするなどの配慮がされています。6者から2者に絞り込むとすれば、よりスムーズな小中接続と、生徒の学ぶ意欲を高めるための北海道とのかかわりに関する内容が充実していると思われる、教育出版と開隆堂の2者を選定したいと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。小中の接続と北海道とのかかわりの観点から教育出版と開隆堂の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、外国語につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、教育出版と開隆堂の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、外国語につきましては、教育出版と開隆堂の2者を候補といたします。続きまして、道徳について審議を行います。ご意見がございましたらお願いいたします。

(大井委員)

はい。

(程野会長)

大井委員。

(大井委員)

道徳では、学習指導要領において、「人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。」ことが求められています。道徳教育を進めるに当たっては、「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念」を育むことが大切であり、根底にあるものだと思いますので、「生命との関わり」に着目して、各教科書の取扱内容を調べてみました。東京書籍では、命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える学習活動などが取り上げられており、教育出版では、命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考えるような活動などを設定しており、光村図書では、生きている間に命を大切にするために

は、どのような生き方をすべきかを考える学習活動を設定するなどしており、日本文教出版では、命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動などが設定されています。また、学研教育みらいでは、自分にとって、命を大切にするということは、どのようなことかを考える学習活動を取り上げており、廣済堂あかつきでは、人の生死に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動などを設定しております。なお、日本教科書は見本本がなかったため、調べることができませんでした。調べた6者ともそれぞれ工夫がなされており、2者に絞り込むというのも難しいものがありますが、「命の尊さ」について、より多面的・多角的に考えられるような配慮がなされている、東京書籍と教育出版の2者が良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。多面的・多角的な考え方というの観点から、東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(水野委員)

はい。

(程野会長)

水野委員。

(水野委員)

道徳の学習においては、生徒の発達段階や特性等を考慮し、道徳的行為に関する体験的な学習を適切に取り入れるなど、指導方法の工夫が求められています。そのようなことから、「体験的な学習」への対応という観点で、各教科書の内容を調べてみましたが、各学年に、役割演技による学習を示す「アクション」を配置し、実際に当事者として体験する学習を通して、議論を深めることができるように工夫をしている東京書籍と、各学年に、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫がなされている教育出版が良いのではないかと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(堀江委員)

はい。

(程野会長)

堀江委員。

(堀江委員)

情報化社会のさらなる進展に伴い、子供たちはスマートフォンやパソコン、SNSと上手につきあい、うまく活用していかなければならないと考えますが、一方で「情報モラル」に関する教育も重要であると思います。そこで、「情報モラル」に関する取扱内容に着目して、教科書の特徴を比較してみました。中でも、東京書籍では、SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのようなことに配慮する必

要があるかを考える活動を設定しており、教育出版では、スマートフォンや携帯電話を扱い、よりよく利用していくためには、どのようなことが大切かを考える学習活動を取り上げています。このように、情報化への対応や社会生活における人との関わりの中で、人間としてよりよく生きる態度を養うよう、工夫がなされている東京書籍と教育出版の2者を残すことで良いと思います。

(程野会長)

ありがとうございました。情報モラルの観点から東京書籍と教育出版の2者を推薦するという意見がございました。その他ご意見はございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

ないようでありますので、道德につきましては各委員からのご意見を踏まえまして、東京書籍と教育出版の2者を候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、道德につきましては、東京書籍と教育出版の2者を候補といたします。最後に『学校教育法附則第9条図書』について、審議を行います。審議の取り進め方について、事務局から説明いたします。

(橋本学校教育係長)

学校教育法附則第9条の規定によります教科用図書の採択にあたりましては、令和2年3月27日付の文部科学省通知を受け、5月20日付けで北海道教育委員会からの通知が出されております。その中では、採択権者は教科の主たる教材として教育目標の達成上、適切な図書を採択することとし、次の6つの事項に留意することとされております。①児童・生徒の障害の種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容のものであること。②可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容をもつ図書が適切であること。③上(じょう)学年で使用することとなる教科書との関連性を考慮すること。④適切な体裁の図書を採択すること。⑤価格はあまり高額なものに偏らないこと。⑥分冊となっている一般図書を採択する場合は、年度当初にまとめて採択することとなっております。これらの通知とともに、北海道教育委員会の採択参考資料や、調査委員会からの調査・研究結果をもとに、本協議会として全ての図書を採択し、その後において、採択権者の町村教育委員会において、他の教科書と一緒に採択していただき、各学校において、実際の児童生徒の障害の程度や実態に応じ、その中から採択することでとり進めていくことが適当であるかと思えます。

(程野会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、このように取り進めることとし、次回さらに審議し決定することによりよろしいでしょうか。

(委員一同)
よろしい。

(程野会長)

それでは、そのようにいたします。

本日は、10教科16種目について、それぞれ2者に絞り込みを行いました。次回の協議会において、さらに審議を行い、学校教育法附則第9条図書を含めて決定したいと考えております。

なお、本日絞り込んだ教科書とその理由につきましては、事務局においてまとめた上で、次回の協議会に資料として提出させていただきます。

なお、協議会規約第9条第2項に「教科用図書を種目ごとに1種決定するための協議を行う会議は、委員全員が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されておりますので、全委員の出席をお願いいたします。

なお、次回の協議会は、同じく芽室町中央公民館で8月6日に開催いたします。

委員の皆さんから、何かございませんか。

(委員一同)
なし。

(程野会長)

十勝教育局から、何かございませんか。

(十勝教育局)
なし。

(程野会長)

それでは、以上をもちまして、令和2年度第5回第12地区教科書採択教育委員会協議会を終了いたします。お疲れ様でした。